

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 3 枚
送信日 2025 年 11 月 27 日



12 月 3 日は「世界ニホンザルの日」です！

いつも日本モンキーセンターの活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、12 月 3 日の「世界ニホンザルの日」が近づいてまいりました。今年も多くの方にニホンザルについて知っていただく機会といたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

■「世界ニホンザルの日」とは？

1948 年 12 月 3 日に京都大学の今西錦司らが宮崎県の幸島で初めてニホンザルの調査をおこないました。日本の霊長類研究の始まりの日にちなみ、2021 年に日本モンキーセンターが中心となって呼びかけ、12 月 3 日を「世界ニホンザルの日」としました。今年で 4 年目となります。

「世界チンパンジーの日」や「国際ゴリラの日」などさまざまな記念日がありますが、「世界ニホンザルの日」は日本から世界に発信する数少ない記念日の一つです。

■意外とすごい！？ ニホンザル

ニホンザルは、ヒトを除く霊長類約 500 種の中でもっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。今西錦司らが創始したニホンザルの研究は、その生態や社会の解明から医学研究への応用にいたるまで、霊長類学を発展させ多くの知見をもたらしてきました。いっぽう、絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在でもあります。

このようなニホンザルの魅力を知り、関心を高め、保全や福祉について考える日とするため、「世界ニホンザルの日」には国内の動物園などでさまざまなイベントが企画されています。

■2025 年のポスター

2021 年は幸島、2022 年は高崎山、2023 年は小豆島、2024 年は嵐山と、霊長類学のパイオニアたちの足跡を追うようにニホンザルの長期調査地の写真を採用してきました。今年は、1957 年に開苑した旧犬山野猿公苑の時代から続く冬の風物詩「たき火にあたるサル」の写真で制作しました。



■関連イベント

日本モンキーセンターでは以下のイベントを予定しています。

11月30日(日) 11:00～ 海とサルのゲストトーク「島に住むニホンザル」 ※以下参照

12月2日(火) お昼ごろ オンラインガイド 世界ニホンザルの日 Ver

12月3日(水) 15:00 ごろ オンラインガイド 世界ニホンザルの日 Ver

12月4～11日のどこかで「生息地から生配信！屋久島のニホンザル」

12月22日(月) 冬の風物詩「たき火にあたるサル」スタート ※後日リリースいたします

そのほか、熊本市動植物園、狭山市立智光山公園こども動物園など、各地の動物園等でニホンザルに関するイベント等が予定されています。

詳細は「世界ニホンザルの日」の Web サイトをご覧ください。 <https://bit.ly/WJMD>

■11/30(日)開催 海とサルのゲストトーク「島に住むニホンザル」 詳細

日時: 2025/11/30(日) 11:00～11:45

講師: 鈴木崇文先生 (京都大学)

参加費: 無料(別途入園料は必要です)

宮崎県南部、串間市には「幸島(こうじま)」という小さな島にニホンザルが暮らしています。面積はおよそ 32 ヘクタールと小規模ながら、日本の霊長類学研究が始まった場所として知られ、1948 年に調査が始まって以来、現在まで研究が続けられています。島という特別な環境に暮らすため、サルたちは日常的に海と接しており、その中で魚を食べるといった、他の地域ではあまり見られない珍しい採食行動も観察されています。今回は映像を交えながら、幸島に暮らすニホンザルたちのユニークな生活の様子をご紹介します。



本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp

綿貫、江藤、徐(学術部企画広報課)、赤見、高野(学術部教育課)

参考資料

■入園ゲートで約 100 人に聞いてみました！

世界ニホンザルの日を前に、10～11 月の数日間、日本モンキーセンターの入園ゲート前で入園前の来園者に「ニホンザルからイメージする言葉」を 5 つ挙げてもらいました。多くの方が挙げた言葉は以下のとおりでした。

2025 年秋の結果(122 名)

- 1 位 温泉(44.5%)
- 2 位 顔(や尻)が赤い(40.3%)
- 3 位 かわいい(31.1%)
- 4 位 群れ(19.3%)
※群れている、集団、なども含む
- 5 位 バナナ(15.1%)

(参考)2024 年秋の結果(96 名)

- 1 位 温泉(45.8%)
- 2 位 顔(や尻)が赤い(40.6%)
- 3 位 群れ(21.9%)
※群れている、集団、なども含む
- 4 位 バナナ(17.7%)
- 5 位 かわいい(15.6%)
- 5 位 寒い/雪/最北(15.6%)

1 位は今年も「温泉」でした

温泉に入る野生のニホンザルは長野県地獄谷野猿公苑の 1 群しか知られていませんが、ニホンザルのイメージとして定着しているようです。

「かわいい」が増加しました

15.6%から 31.1%へ増加しました。その一方で「こわい」「凶暴」といったネガティブな表現も昨年 9.4%から今年 11.8%に微増しました。ニホンザルにこのような多面的なイメージがあるのは、私たちにとって身近な動物だからこそ、さまざまな関わり方があるためだと考えられます。

誤った食べ物のイメージが強いようです

4 位の「バナナ」のほか、リンゴ、サツマイモ、焼イモなどの言葉も多く見られました。ニホンザルが本来食べているものとは異なるこのようなイメージは、動物園や野猿公苑などが与えている(与えていた)飼料によるものでしょう。

日本モンキーセンターは「自然への窓」としての動物園を目指しています。

ニホンザルをはじめとした多様な霊長類の本来の姿をみなさまに知っていただけるよう、今後も情報発信に努めてまいります。